

学校教育目標	課題【自ら学び 共に創る】 宣言 主体的に学び しっかり考え 互いに高めあい よりよい社会を創造する力を育てます 具体的内容 【知】主体的に考え、意欲的に学び続ける力を育てます 【徳】自分を大切にし、人を思いやる気持ちを育てます 【体】心身ともにたくましく生きる力を育てます 【公】地域や社会のために、他者と協働する力を育てます 【開】多様性を尊重し、共生する力を育てます					
	学校概要	創立 76 周年	学校長 山我 智康	副校長 岸川 雅郎	2 学期制	一般学級: 22 個別支援学級: 7 児童生徒数: 811 人 主な関係校: 中山小学校 上山小学校 森の台小学校

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中山中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
主体的に学習する力 課題発見・解決能力 自他を認め、協働する力	中山中学校 中山小学校 上山小学校 森の台小学校	豊かななかかわりを通して、主体的に課題解決をする子ども ・地区懇や子ども会議を通して、児童生徒が「まち」とかかわりながら自分の課題について考えられるようにする。 ・小中合同授業研究会では「主体的に課題を解決する力の育成」をテーマに協議会を行う。 ・授業、音楽、部活動などで、児童生徒が直接交流する場を作る。

中期取組目標	○「チームなかやま」として、全教職員で参画意識と創造力を高め、魅力ある学校づくりをめざします。 ・子どもの主体的な学びを引き出し、課題を解決する力を育てます。 ・自他を認め互いに協力しながら、思いやりの気持ちと自尊感情や自己肯定感を育てます。 ・家庭、地域、小学校ブロックとの連携から、豊かなコミュニケーション能力を育てます。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	生きて働く知	・基礎学力の定着を図りながら、今後も継続して、話し合い活動やグループ活動を取り入れていく。 主体的な学びを通して、コミュニケーション能力が高まる学習機会をつくる。 ・生徒による授業評価を行い、各教科会で検討して改善を図っていく。
担当	学習指導部・教科主任会	
徳	豊かな心	・人権教育実践推進校として、2年目になり全校で各種の人権教育に取り組む。人権作文へ向けた全校道徳などを通して、思いやりの心や自尊感情を育てる。 ・あいさつ・募金活動などの生徒会活動を通してコミュニケーション向上とあいさつを大切にできる生徒を育てる。
担当	学習指導部道徳係	
体	健やかな体	・健康診断やスポーツテスト等を通して、自分の健康状態と体力について興味を持ち理解を深める。 ・運動やスポーツ等に親しみ、自らの心身の健康を高める生徒の育成に努める。 ・基本的な生活習慣が身につくよう、学校生活の中でも健康安全に関する知識を深められる環境をつくる。
担当	保健安全指導部・体育科	
公開	特別支援・国際理解	・特別支援を必要としている生徒にとって居場所となるように運営し、特別支援教室「なかちゅうルーム」を中山中生徒の実態に合わせた教室に刷新していく。 ・全職員及び地域の方々との情報の共有に努めながら、国際教室の運営に繋げていく。
担当	研究部特別支援教育係・国際係	
いじめへの対応		・毎月の生徒向け生活アンケートや長期休業明けの教育相談を充実させ、生徒が不安や悩みを相談しやすい環境づくりを推進する。 生徒が主体となっていじめ防止に取り組み、家庭や地域との対話を通じて、いじめのない学校風土を醸成する。
担当	いじめ防止委員会・生徒指導部	
人材育成・組織運営(働き方)		・個々の目標が達成できるように風通しのよい雰囲気を作るなど、お互いにサポートをしていける環境を築いていく。 ・学年、校務分掌の枠にとらわれず、いろいろな立場の人がコミュニケーションを取りやすい環境をつくることでスムーズな人材育成を促す。
担当	管理職・教育課程委員会	
地域学校協働活動		・学校・家庭・地域の美化活動として花いっぱい活動を年間2回行う。 ・地域と連携し、生徒が主体的に地域活動へ参加できる体制をつくる。 ・地区懇談会を通じて、家庭・地域の方からの助言のもと、地域でのあいさつに取り組み、「まち」を大切に作る雰囲気を育む。
担当	地域連携委員会・教務部・学校運営協議会	
未来をひらく志 キャリア教育		・3年間を見通したキャリア教育を充実させ、時代に即した新しいプログラムの計画を立て、よりよい社会を創造する力を育成する。 ・ICTを積極的に活用し、豊かなコミュニケーション力を持つ生徒の育成と、自己の進路選択ができる生徒の育成に努める。
担当	特活指導部・研究部総合・キャリア教育係	
教育環境整備		・ゴミ回収を確実にを行うために、ゴミの分別の呼びかけを、わかりやすく工夫する。 ・安全点検や美化点検などを定期的に行い、生徒が主体的な活動を行えるように努める。
担当	保健安全指導部・施設管理研究部情報係・OGAスクール係	
人権教育の推進		・YPアセスメントを複数回払い、職員研修会で情報を共有し、学級・学年指導の改善を図る。 ・生徒の人権意識の向上を図るため、人権作文・標語づくりを丁寧に取り組んでいく。 ・引き続き国際教室の職員研修を行い、支援の必要な生徒の理解をすすめる。
担当	学習指導部人権・国際係	

### 中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

#### 学校教育目標

課題【自ら学び 共に創る】  
 宣言 主体的に学び しっかり考え 互いに高めあい よりよい社会を創造する力を育てます

具体的内容  
 【知】主体的に考え、意欲的に学び続ける力を育てます  
 【徳】自分を大切にし、人を思いやる気持ちを育てます  
 【体】心身ともにたくましく生きる力を育てます  
 【公】地域や社会のために、他者と協働する力を育てます  
 【関】多様性を尊重し、共生する力を育てます

#### 教育課程全体で 育成を目指す資質・能力

主体的に学習する力  
 課題発見・解決能力  
 自他を認め、協働する力

#### 具体化した資質・能力

問題を認識する能力 目標を定義・設定する能力  
 主体性・積極性 多様性を尊重する態度

#### 中期取組目標

○「チームなかやま」として、全教職員で参画意識と創造力を高め、魅力ある学校づくりをめざします。  
 ・子どもの主体的な学びを引き出し、課題を解決する力を育てます。  
 ・自他を認め互いに協力しながら、思いやりの気持ちと自尊感情や自己肯定感を育てます。  
 ・家庭、地域、小学校ブロックとの連携から、豊かなコミュニケーション能力を育てます。

#### 学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
生きて働く知	・基礎学力の定着を図りながら、今後も継続して、話し合い活動やグループ活動を取り入れていく。 主体的な学びを通して、コミュニケーション能力が高まる学習機会をつくる。 ・生徒による授業評価を行い、各教科会で検討して改善を図っていく。
担当	学習指導部・教科主任会

#### 学力向上に関わる本校の状況

(各教科)  
 ○国語：自己表現活動の機会を通して、感性を豊かにし、文章を書く力を育てるとともにコミュニケーション能力を高める。  
 ○社会：ICT機器を活用して資料を読み取り、課題を解決する活動を多く取り入れ、思考力判断力を育てる。  
 ○数学：具体的な場面での活用を意識することができ始めてきている。しかし、式などに落とし込んだり表現したりするには至らないところもある。数学を生活や学習に生かし、問題解決ができるように育てる。  
 ○理科：ICT機器を活用し、実験や観察についての考察を深く考える活動を多く取り入れ、思考表現力を育てる。  
 ○音楽：音楽の楽しさや美しさを共有できるような活動を多く取り入れ、感じたことや気持ちを表現する力を育てる。  
 ○美術：色彩や構図など基礎的な学びを中心に、生活で生かすことのできる題材を選びをし、生徒の心豊かな生活を目標に育てる。  
 ○保健体育：新体力テストにおける結果に基づいて握力が著しく低下しているため、授業の中で補強運動を含め、運動の機会を増やし基礎体力をあげていく。  
 ○技家：生活に必要なものが安価で手軽に手に入る時代背景もあり、主体的に自らの生活を改善していく考えが乏しい。ものづくりを背景とした実践的・体験的な活動に対して、多面的に深く考える姿勢を育てる。  
 ○英語：キーワードや文脈から短時間で内容を理解するトレーニングを様々な活動を通して行い、ミス恐れず、より正確に自己表現できる力を育てる。

#### 今年度の目標

①継続して基礎学力の定着を図りながら、その知識を活用して、自らの考えを発表していく力を育む。  
 ②話し合い活動や発表など参加型の授業を通して互いに認め合う心を高め、課題解決能力を育む。  
 ③図書館を活用した調べ学習などを通して、主体的に学ぶ力を育てる。

#### 目標を実現するための具体的行動プラン

上半期  
 ・昨年同様基礎学力の定着を図りながら、知識を活用して、自らの考えを発表していく力を育みます。  
 ・話し合いや発表など全員参加型の授業を通して互いに認め合う心を高め、課題解決能力を育む。  
 ・図書館やICT機器を活用した調べ学習を通して、主体的に学ぶ力を育てる。  
 (各教科)  
 ○国語：自己表現活動をペアや小グループで行うことで、感性を豊かにし、文章を書く力を育てるとともにコミュニケーション能力を高める。  
 ○社会：ICT機器を活用して資料を読み取り、課題を解決する活動を多く取り入れ、思考力判断力を育てる。  
 ○数学：自己評価カードなどで具体的なイメージを記入することができているので今後も継続する。授業の中で関連性のある話題を出し、問題解決の過程を振り返りながら生活に生かせるように働きかける。  
 ○理科：ICT機器を活用し、実験や観察についての考察を深く考える活動を多く取り入れ、思考表現力を育てる。  
 ○音楽：音楽の楽しさや美しさを共有できるような活動を多く取り入れ、感じたことや気持ちを表現する力を育てる。  
 ○美術：色彩や構図など基礎的な学びを中心に、さらに様々な媒体で活動させながら、生活で生かすことのできる題材を選びをし、生徒の心豊かな生活を目標に育てる。  
 ○保健体育：毎時間の授業において、筋力や握力などの補強運動を含め、運動の機会を増やし基礎体力をあげていく。  
 ○技家：授業の中で、自分の生活や社会に対して目を向けさせる。いかに課題を見つけ、いかに解決するか、何を学習すれば将来にわたってその力が活かされるか、具体的に考えさせる。  
 ○英語：キーワードや文脈から短時間で内容を理解するトレーニングを様々な活動を通して行い、ミス恐れず、より正確に自己表現できる力を育てる。

下半期

### 豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	・人権教育実践推進校として、2年目になり全校で各種の人権教育に取り組む。人権作文へ向けた全校道徳などを通して、思いやりの心や自尊感情を育てる。 ・あいさつ・募金活動などの生徒会活動を通してコミュニケーション向上とあいさつを大切にできる生徒を育てる。
担当	学習指導部道徳係

#### 豊かな心に関わる本校の状況

①自己肯定感や自尊感情を半数の生徒が持つ一方で、3割ほどの生徒は自分のよさを認められずにいる。  
 ②人間関係をつくるコミュニケーション能力が不十分な生徒が増えており、学年が下がるほど些細なことを発端としたトラブルが見られる。また、SNSなどによるトラブルも増えてきている。  
 ③各学年でY-Pアセスメントに取り組んでいく。

#### 今年度の目標

○「チームなかやま」として、全教職員で参画意識と創造力を高め、魅力ある学校づくりをめざします。  
 ・子どもの主体的な学びを引き出し、課題を解決する力を育てる。  
 ・自分を大切にし、人を思いやりの気持ちと自己肯定感を育てる。  
 ・家庭、地域、小学校ブロックとの連携から、地域や社会のために他者と協働する力を育てる。

#### 目標を実現するための具体的行動プラン

上半期  
 ①道徳の時間の指導方法を研究・実践する中で、子どもが自己を深く見つめ、よりよく生きようとする道徳的実践力を育てる。  
 ②研修会や授業の反省などを通して、教師一人ひとりの実践力の向上を図る。実生活に生きる道徳教育の充実させる。  
 ③道徳推進教師を中心として、各学年の道徳担当が連携し3年間の系統立てた計画の見直し・推進を図る。さらに教科・領域との関連を図る。  
 ④人権教育を通して命を大切に、自己肯定感をもっていきたいと生活する生徒を育てる。  
 ⑤授業を通して判断力、表現力、コミュニケーション能力を身に付け、主体的に学ぶ生徒を育てる。  
 ⑥グローバルな視野を持たせ、社会の一員として自立し、地域や社会のために他者と協働する力を育てる。

下半期

#### 健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	・健康診断やスポーツテスト等を通して、自分の健康状態と体力について興味を持ち理解を深める。 ・運動やスポーツ等に親しみ、自らの心身の健康を高める生徒の育成に努める。 ・基本的な生活習慣が身につくよう、学校生活の中でも健康安全に関する知識を深められる環境をつくる。
担当	保健安全指導部・体育科

#### 健やかな体に関わる本校の状況

・感染症の影響もあり、体力が低下している生徒が多い。  
 ・少しの運動でも、吐いたり、体調を崩したりすることがある。  
 ・些細なことでも骨折する生徒がいる。  
 ・部活動を含め、運動に対して真剣に取り組むことができる。  
 ・何事にも全力で取り組むことを授業の大切な一つとしている。また、集団行動を大事にしている。

#### 今年度の目標

自ら健康を保持増進しようとする態度を育てる  
 生涯にわたって運動やスポーツに親しむ態度を育てる

#### 目標を実現するための具体的行動プラン

上半期  
 ・授業ごとに健康について大切なことを投げかけていく。  
 ・授業で、基礎体力をつけるための補強運動を行う。  
 ・生涯スポーツに関する情報を掲示物などで流していく。  
 ・集団行動を大事にして活動していく。

下半期